



日本精神科病院協会 第1回日本精神科医学会学術大会
ランチョンセミナー7

精神科クリティカルパスの 現状と今後の展望

～精神科医療の質向上へ向けて～

日時

2012年**10月9日** 12:00～13:00

会場

大阪国際会議場 第9会場(12階 特別会議場)
大阪市北区中之島5丁目3-51

座長

医療法人社団 光生会 平川病院 院長
平川 淳一 先生

演者

国際医療福祉大学大学院 教授
武藤 正樹 先生

共催/日本精神科病院協会 第1回日本精神科医学会学術大会
共和薬品工業株式会社

精神科クリティカルパスの現状と今後の展望

～精神科医療の質向上へ向けて～

武藤 正樹 先生 ご略歴

国際医療福祉総合研究所長・国際医療福祉大学大学院教授

1949年神奈川県川崎市生まれ。1974年新潟大学医学部卒業、1978年新潟大学大学院医科学研究科終了後、国立横浜病院にて外科医師として勤務。同病院在籍中1986年～1988年までニューヨーク州立大学家庭医療学科に留学。1988年厚生省関東信越地方医務局指導課長。1990年国立療養所村松病院副院長。1994年国立医療・病院管理研究所医療政策研究部長。1995年国立長野病院副院長。2006年より国際医療福祉大学三田病院副院長・国際医療福祉総合研究所長・同大学大学院教授、2007年より(株)医療福祉経営審査機構CEO、2011年より(株)医療福祉総合研究所代表取締役社長(兼務)、2012年6月より現職で現在に至る。

所属学会・研究会等

日本医療マネジメント学会副理事長

日本ジェネリック医薬品学会理事

日本疾病管理研究会会長

医療の質に基づく支払い(P4P)研究会代表幹事

介護連携パス研究会代表幹事

医療材料マネジメント研究会代表幹事

日本外科会会員

政府委員等

医療計画見直し等検討会座長(厚生労働省2010年～2011年)

精神科医療の機能分化と質向上に関する検討会座長(厚生労働省2012年)

高度情報通信ネットワーク社会推進戦略本部「医療情報化に関するタスクフォース」レセプト情報等活用作業部会座長(内閣府2011年～2012年)

ジェネリック医薬品品質情報検討会委員(厚労省2008年～)

東京都地域対策協議会委員(東京都2008年～)

入院医療等の調査評価分科会会長(中央社会保険医療協議会2012年～)

著書

『薬剤のQOL評価と応用』(薬事時報社1997(共著))、『基礎からわかるクリティカルパス作成活用ガイド』(日総研出版1997(共著))、『みんなのこんな病院あったらいいなが実現する本』(日総研出版2001(共著))、『新たな医療連携の実践』(じほう2001(共著))、『急性期病院のあり方と外来分離』(じほう2003(共著))、『初心者のためのクリティカルバリエーション・マネジメントガイド』(ビーイング・ネット・プレス2003(訳書))、『地域医療支援病院と医療連携のあり方』(じほう2004(共著))、『ジェネリック医薬品がわかる本』(法研2006(共著))、『よくわかる医療連携Q&A』(じほう2007)、『よくわかる病院の仕事のしくみ』(ぱる出版2007)、『ササッとわかるジェネリック医薬品』(講談社2007)、『P4Pのすべて～医療の質に対する支払い方式とは～』(医療タイムス2008)『医療制度改革で仕事はこう変わる』(ぱる出版2007)、『地域連携クリティカルパスと疾病ケアマネジメント』(中央法規出版2009)、『一歩進んだ地域連携Q&A』(じほう2009)、『医療が変わるto2020』(医学通信社2010年)、『今日のCommon Disease 診療ガイドライン、エスタブリッシュ医薬品と標準治療』(医学書院2012年)、『よくわかる病院の仕事のしくみ』(ぱる出版2007)、『ササッとわかるジェネリック医薬品』(講談社2007)、『P4Pのすべて～医療の質に対する支払い方式とは～』(医療タイムス2008)『医療制度改革で仕事はこう変わる』(ぱる出版2007)、『地域連携クリティカルパスと疾病ケアマネジメント』(中央法規出版2009)、『一歩進んだ地域連携Q&A』(じほう2009)